令和７年度 虹が丘小学校「学力向上プラン」

学力向上

学び方を身に付けた児童の育成

探究的授業の実践

課題解決

〇思考の過程を振り返り、結果をまとめる。
〇練習問題に取り組む。
〇今後の学習や生活にどのように生かすか考える。
〇新たな疑問をもち、次時へつなげる。

課題設定

〇提示された資料や前時までの既習内容から疑問をもち、課題を明確にする。
〇本時の学習にどういう意味があり、何を目指すのか認識する。

協働検証

〇自分の考えを伝え、友達の考えを聞いて課題について問い直す。
〇互いに学び合うことで多様な考えを理解する。
〇知識を関連付けて、より深く理解する。

自力思考

〇既習事項と比べたり、関連付けたりしながら考える。
〇必要な情報を収集して調べたり、自分の考えを言葉、文章、図、式等で表したりして、自分なりの考えを形成する。

学習規律《レインボースタンダード》の定着

◇休み時間は、次の時間の準備を済ませ、時間前に着席
◇授業の始めと終わりには、きちんとあいさつ
◇背中を伸ばして正しい姿勢
◇名前を呼ばれたら「はい」と返事
◇みんなの方を向いて発表
◇大きな声ではっきりと話す
◇話す人の方を向いて聞く
◇問いかけには、返事やうなずきで反応
◇すべての学習用具に記名
◇筆箱の中には、鉛筆５本程度・赤鉛筆（赤ペン）・青鉛筆（青ペン）・消しゴム・定規・書き方ペンだけ
◇宿題は、決められた日までに提出
◇豊富な読書量

探究的授業の創造

◇本時（単元）を通して資質・能力が育成された児童の具体的な姿を描く
◇発問に対する児童の反応や課題に対する考えを予想する
◇児童の思考をサポートするツールなど手立てを準備する
◇児童が働かせるべき「見方・考え方」を把握している
◇児童の思考の過程が分かる板書を計画する

校内研究

◇対話力・活用力・探究力の視点に立った授業の創造
◇ＩＣＴの効果的活用とノウハウの共有

特別支援教育の視点

◇「受容」と「協調の精神」を基盤とした学級経営
◇学習に集中できる環境整備
◇スモールステップの発問・指示
◇学習のＵＤ化
・机上の学習用具の置き方
・板書とノート
　も…白チョーク囲み　　白チョーク　　→鉛筆
　め…赤チョーク囲み　　黄・赤チョーク→赤鉛筆
　ま…青チョーク囲み　　青チョーク　　→青鉛筆
　文字は白チョークか黄色チョーク
◇思考ツールとしてデジタルとアナログの適時活用
◇ＩＣＴの有効活用
　ex)大きな画面で見せる、動画で学ばせる…等